

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する 倫理委員会のホームページで公開を希望

URL

承認番号	3868
研究課題名	ESBL (extended-spectrum beta-lactamase: 基質特異性拡張型βラクタマーゼ) 産生菌による菌血症患者の院内死亡予測因子に関する研究
研究の意義・目的	感染症診療においては、耐性菌であるESBL産生菌による感染症が臨床的に重要な問題である。ESBL産生菌菌血症に関する臨床的研究は散見されるが、本邦においてESBL産生菌菌血症における院内死亡の予測因子を解析した研究はほとんどみられない。本研究によってESBL産生菌菌血症による死亡発症に關与する予測因子が明らかとなり、その治療方針に寄与できると考えられる。
研究期間	倫理委員会承認後～2019年3月31日
研究対象者の範囲	大阪市立大学医学部附属病院で、2011年1月1日から2017年4月30日までに施行された血液培養からESBL産生菌が検出された患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	検査データ、診療記録
利用者の範囲	自施設のみ
研究機関の情報	大阪市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 掛屋 弘
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/infectioncontrol/
試料・情報を公表する方法	倫理委員会のホームページで公開
試料・情報の提供方法	なし
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	掛屋 弘
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	受付方法:メール、ocu-ics2013@med.osaka-cu.ac.jp、並川 浩己